

(臨床研究に関する公開情報)

岡崎市民病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解でない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご紹介下さい。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 誤嚥防止術の適応となった嚥下リハビリテーションを行う入院患者の経口摂取とコミュニケーションについての検討

[研究責任者] 医療技術局リハビリテーション室 倉橋亮

[研究の背景]

嚥下障害に対する治療ではリハビリテーションが重要な役割を担うが、重度の嚥下障害や進行性の疾患が背景にある場合には十分な治療効果が得られず、経口摂取が困難な症例が存在する。そのような症例に対しては外科的手術治療が適応となる場合があり、誤嚥防止を目的とした手術として誤嚥防止術がある。術前後の経口摂取やコミュニケーションの関しては複数の施設から報告がなされているが、施設によって嚥下障害の背景疾患は異なり、その報告結果も様々である。

当院では 2019 年 4 月より言語聴覚士(ST)が嚥下リハビリテーションを行う入院患者について耳鼻科との連携を開始し、嚥下評価後に誤嚥防止術の適応と診断された患者を複数経験した。耳鼻科との連携や患者への支援を充実させていくためには術前後の状態変化を理解することが重要であり、本研究では誤嚥防止術の適応となった患者の経口摂取とコミュニケーションについて調査を行うこととした。

[研究の目的]

誤嚥防止術の適応となった患者の経口摂取とコミュニケーションについて検討する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

当院入院後に ST が介入した嚥下障害患者のうち耳鼻科と連携を行い誤嚥防止術の適応と診断された患者（調査対象期間：2019 年 4 月～2020 年 3 月）

●研究期間：承認日から西暦 2021 年 12 月

●利用する検体、カルテ情報

検体：通常の診療で使用した検査結果を使用し、研究のためだけの検査は行いません。

カルテ情報：

- ① 年齢
- ② 性別
- ③ 原疾患（入院契機）
- ④ 嚥下障害の背景疾患

- ⑤ 日常生活動作
- ⑥ コミュニケーション方法
- ⑦ 嚥下障害重症度
- ⑧ 摂食状況
- ⑨ 経口摂取への希望の有無
- ⑩ 誤嚥防止術の実施の有無

●検体や情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

岡崎市民病院

444-8553 愛知県岡崎市高隆寺町字五所合3番地1

岡崎市民病院 医療技術局 リハビリテーション室

言語聴覚士 倉橋亮

電話 0564-21-8111